

議 事 録

会議の名称	第1回三田市行政評価委員会
開催の日時	令和6年6月28日（金） 18時30分～20時00分
開催の場所	三田市役所本庁舎3階庁議室（オンライン併用）
出席した委員の氏名	赤澤委員長、馬場副委員長、中村（匡）委員、本田委員、稲富委員、中村（倫）委員、福田委員、大坂委員、小林委員
欠席した委員の氏名	菊川委員
出席した庶務職員の職及び氏名	西垣戸総合政策部長、寛長総合政策部次長、後尾政策課長、川崎政策課副課長、鳴瀧政策課係長
その他出席者	無し
傍聴者の人数	無し
議題	<p>(1) 会議の公開について</p> <p>(2) 行政評価のながれと委員会の役割について</p> <p>(3) 事前評価及び事前質問について</p> <p>(4) 審議</p> <p>① ヒアリング対象施策について</p> <p>② その他意見交換</p>
会議の概要（結論）	<p>(1) 行政評価のながれと委員会の役割について確認</p> <p>(2) 令和6年度行政評価（内部評価）に対する各委員からの評価結果について</p> <p>(3) 『学校教育の充実』、『若者が集うまち及び地域活躍人材育成プログラム「三田スモカモス・プロジェクト」』、『観光・交流・文化の振興及び三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業』、『まちの再生』、『交通ネットワーク』を、次回以降のヒアリング施策とした。</p>
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 諮問書（写し） ・ 資料A 三田市行政評価条例 ・ 資料B 三田市附属機関の設置に関する条例 ・ 資料C 三田市行政評価委員会規則 ・ 資料1 令和6年度実施行政評価【内部評価】調書 ・ 資料2 令和5年度 三田市市民意識調査結果報告書（一部抜粋） ・ 資料3 行政評価のながれと委員会の役割について ・ 資料4 諮問書（写し） ・ 資料5 会議の公開について ・ 資料6 進捗事前評価の状況 ・ 資料7 事前質問一覧

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回会議向け質問票 ・ 委員名簿 ・ 座席表
連絡先	総合政策部 政策課 電話 (079) 559 - 5038 内線 2212

1 開 会

- ・ 寛長総合政策部次長の司会により開会、配布資料の確認等

2 委員紹介

- ・ 寛長総合政策部次長より、名簿順に各委員の紹介

3 議 事

(1) 会議の公開について

＜事務局から資料 5 に基づき説明＞

＜委員長より、会議録の記名方法について、「委員長」、「副委員長」、「委員」と表記することでよいか確認。(異議なし)＞

(2) 行政評価のながれと委員会の役割について

＜事務局から資料 3 に基づき説明＞

(3) 外部評価の実施について

＜事前評価の状況、事前質問、外部評価の進め方について、事務局から資料 6、7 に基づき説明＞

①事前評価の状況、事前質問についての審議

委員長：次回以降のヒアリングを実施する施策を決定していくにあたり、事前評価や事前質問をヒアリングで聞く施策数の目安について説明いただきたい。

事務局：今年度は 3 回ご審議いただく日程を考慮すると、ヒアリング項目としては、5 つ程度と考えており、第 2 回に 4 項目、第 3 回で 1 項目のヒアリングを実施した後、全体の評価をしていただくことを想定しています。

委員長：25 施策の中から、次回以降の委員会において所管課にヒアリングを実施する 5 施策を本日決定していくということです。

事務局：資料 7 の事前質問は、取りまとめ次第、お手元に提供いたします。

委員長：「資料 2」は市民意識調査を行った時の調査結果報告となっています。資料 2、52 ページの表は、総合計画の基本計画に掲げる 6 つの施策の重要度と満足度を図るものとして 4 つに区分されています。ヒアリング項目として参考にするならば、「重要だけど満足していない」に分類されているものが、改善すべき重点項目として取り上げられます。「ひとのチカラを育み活きるまち」、「支えあい、安全安心に暮らせるまち」及び「まちの基盤が整い、暮らしやすいまち」が、重要だけど満足度が低いという施策群になっています。ヒアリングする項目を決定する際の基準にもなると思いましたので先に説明しました。

委員：個々の施策ごとではなく、カテゴリごとで質問すると、市民がどの辺に興味があるのかということが、少し分かりにくいと思いましたが、個々の施策について、質問はされていないということでしょうか。

事務局：「資料2」の様式のみでアンケートを実施しています。

委員長：全25施策を見ながら回答していただいていると思いますが、大きな6政策体系でしか回答はいただいている状況です。あくまで目安というくらいですかね。

委員：1つのカテゴリの中にもいろんな施策が入っている、このような聞き方だと市民がどこに重点を置いて見ているか、客観的にわかりにくいと思いました。

事務局：5年ほど前までは、全ての施策について重要度・満足度をお聞しておりました。25項目について、個別に重要度と満足度をお聞きするとすると、かなり多くの質問に対して記入していただくことになるため、市民に負担がかかってしまうということ。また、回答率が落ちてしまうことへの懸念もありました。ただ、来年度のアンケートを設計する際には、ご意見も含めて回答率をいかに維持できるか、総合的に考えながら設計してまいりたいと考えております。

委員長：では、5施策を決定していきたいと思えます。委員の視点や観点などから、この施策は入れてほしいというご意見や、こんな視点で絞り込んでいくのはどうかと言った提言や、前年度同様に、委員の皆さんの事前評価で低い評価がついている施策についてヒアリングを実施し、評価を決定していく流れでも良いかと思えます。今年度は、事前評価で評価がCとなった項目は「若者が集うまち」の1施策のみとなっていて、Cと評価した人が4人です。昨年度と同様にヒアリングを実施して確認するというのであれば、ヒアリングリストに入るかもしれません。

委員：重要度が高いけど満足度が低く、かつ委員の皆さんがCと評価した項目を重点的に審議していくことが、効率的で良いと思えます。

委員長：「若者が集うまち」は、施策自体も満足度が低く、委員からの評価も総じて低いです。「まちの再生」、「良好な住まい」は、満足度が低く、Aと評価した人が1人いるけども、Cと評価した人が2人います。評価得点全体としては低いBです。

「いつまでも学び、活躍できるまちづくり」も分かれています。評価得点は低くはないです。「地域医療の安心」は、評価が低い方が多く分かれていますし、評価も満足度も低いということで、ヒアリング対象項目に入るかもしれません。あと、「商工業の振興」も分かれています。良い方で分かれています。「農業の振興」は、Aはなく、一番低いBとなっています。あとは、「観光・交流・文化の振興」のうち、「千丈寺湖畔再生プロジェクト」は、ギリギリBということですね。あと「交通ネットワーク」も低めの方で分かれています。8点のBですね。あと、施策体系の5番目「まちづくりの進め方」の評価は総じて高いですね。「里山・自然の保全」だけCが1つ付いていますが、高い評価が多くなっています。「若者が集うまち」、「地域医療の安心」、「農業の振興」、「三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業」、「まちの再生」、「良好な住まい」、「交通ネットワーク」ぐらいが、今の見方でいうと候補としてリストアップされますかね。そのうち「農業の振興」と「三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業」は、満足度が低くはないとい

うことは目安になるかもしれません。

委員：評価するにあたって、紙資料で KPI 評価できる部分は良いと思いますが、三田市民の困りごとなどは、三田市に住んでみないとわからない話なので、深掘りしていくような観点はあると思います。

委員：三田は、少子高齢化に伴って「生産人口」がかなり減っているのので、個人所得が減っていく厳しい状況になってきています。今後 10 年先を見据えた上で、観光・交流を通じて人口を増加させない限りは、三田市の衰退は止まらないと思います。生産能力のある人の交流が絶対に必要だと思いますので、観光・交流はヒアリング対象に入れていただきたいです。

委員：「観光・交流・文化の振興」は、令和 4 年度と比べて何がどう良くなったのかわかりません。

委員長：「もっとやらないといけない」ということですね。

委員：私も、スモカモスプロジェクトに参加していますが、三田に由縁がなく、ただ、学校があるから三田に通っている友達が多い印象です。大学 1 年生の頃から三田に携わってきましたが、学生が三田で活動できる場づくりを目指してやってきました。「学生が集うまち」には力を入れて、今連携をとってやっていくべきかと感じています。「観光・交流・文化の振興」に関しても、私は、観光という観点から三田市を発信できないかと活動をしてはいますが、観光という観点からは難しいと感じています。「2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」が開催されたり、「さんだまち博」を実施したりしていると思うので、「若者が集うまち」と「観光・交流・文化の振興」に関して力を入れて議論していくべきかと思います。

委員長：「若者が集うまち」の中の『地域活躍人材育成プログラム「三田スモカモス・プロジェクト」』と「観光・交流・文化の振興」の中の「三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業」も含めて、1 セットでヒアリングを実施し、いずれも、評価が低い方の問題点をきちんと指摘していきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員：我が家にも学生がいますし、民生委員・児童委員をやっていると、若い子どもたちと接する機会がよくあり、若い子どもたちから「三田はおもしろくない」とよく話を聞きます。「三田には何もない」と言うんです。関西学院大学の学生とも、ボランティアを通じてよく接していますが、大学を卒業したら皆さん地元や都会に出て行ってしまいます。孫も「三田には魅力がない」と言うので、「魅力がなかったら、あなたが頑張って魅力があるまちにして」と言うと、「1 人ではできない」と返ってきました。やはり、誰かが仕掛けてくれないと子どもたちだけでは出来ないし、大きなバックアップがないと難しいですね。それともう一つ、「観光」ですけど、三田で観光ができる場所がないとよく聞きますが、三田も歴史があり、歴史的にいろんな人物がいるので、歴史的な部分をもっと活かせば、三田にも魅力的な場所があるので、その部分にも力を入れていただければありがたいなと思います。

委員長：例えば「三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業」でいうと、千丈寺湖周辺が自然体験ができるアウトドアエリアになると、もしかしたら新しい観光目的地

になるかもしれません。「若者が集うまち」と「観光・交流・文化の振興」は、ヒアリングをすることに決まりに近い感じになっていますが、事前質問では質問が1つしか出ていません。本日の委員会において、事前質問以外にも、そういう観点で意見や質問があれば、詳しく教えてほしい旨を事務局から担当課に伝えていただければと思います。

委員：昨年度の委員会の中でもお話しましたが、「三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業」、「まちの再生」、「交通ネットワーク」の全てに繋がる話です。私が住んでいる場所は、千丈寺湖に繋がる道を通る広野地区ですが、去年よりも交通量が明らかに増えています。千丈寺湖再生プロジェクトを推進する前に、まず、交通ネットワークを整備すべきと思います。もし、交通ネットワークの整備をせずに、プロジェクトを進めていくと、交通トラブルが発生する危険性もあるので、地元住民にも配慮しつつ、計画を進めてほしいと思います。「観光・交流・文化の振興」、「まちの再生」、「交通ネットワーク」が関連すると思うので、ヒアリングリストに入れてほしいと思います。

委員長：この資料1を見ると、「まちの再生」は、三田駅前の再開発、広野駅前の再開発、フラワータウンの再生という項目になっています。「交通ネットワーク」も、フラワータウンのスローモビリティですね。関連して「まちの再生」、「交通ネットワーク」というご意見だったので、ヒアリングリストに入れておきましょう。

委員：「デジタル田園都市国家構想交付金」を1セットでヒアリングするというのは、いいアイデアだと思います。

委員：駅前の賑わいが市の賑わいを感じる1つになるとは思いますが、ペDESTリアンデッキでイベントを開催するには、器具の搬送などに課題があります。また観光・交流を進めるにあたって、道路の整備がなされないと交通トラブルなどの問題が出てくるとは思いますので、「まちの再生」もヒアリングリストに入れて欲しいと思います。

委員長：「まちの再生」には、駅前Cブロックの開発の内容が記載されていますが、再開発が進むと接続のペDESTリアンデッキも非常に重要になってくるので、環境整備はされると思いますが、「まちの再生」もプラスの意見として、今後の展望についての意見も、事務局から担当課に伝えていただきますようお願いいたします。

副委員長：「農業の振興」については、Bの中でも下位ですが、ヒアリングリストに入っていないということでしょうか。

委員長：リストには入っています。地場産野菜とか獣害対策とか、農業のあり方とか、農福連携まで結構幅広く関心があるように感じます。「地域医療の安心」は、AもCも評価した人がいて分かれています。この施策体系は満足度が低いが、1項目もヒアリングリストに入っておらず、事前質問は3つ出ています。「学校教育の充実」も低めに分かれてはいないけれど、これもリストに入れるべきだったかもしれません。

委員：先ほど、観光に力を入れると、若者が来るのではないかというお話がありました。明石市は特に観光はありませんが、今、若者世代の人口が増加しています。

必ずしも、観光が、子育て世代や若い世代の移住・定住とダイレクトにリンクしていないのではないかと思います。明石市は、地域ぐるみの子育てに対しての市民満足度は、高く評価されています。「子供にお金を使いましょう」という話で人口増加に繋がったという話も聞いていますが、そこは施策としてはA評価が付いています。もちろん観光も大事だと思いますけれど、掘り下げて考えても良いのかと思います。

委員長：住んでいる地域が不便と思っていたけれど、例えば、通信販売業者が、翌日に商品を届けてくれる状況になれば、買い物が不便という意識も徐々に減ってくると思います。自動運転が整備されることによって、こちらに移動販売に来てくれる可能性もあり、そういう利便性は、都市部と農村部との違いはなくなっていくと思います。ただ、不便地域でヒアリングを実施すると、「教育と医療」の不安がなくなることはないという話です。そのことから、「学校教育の充実」や、「地域医療の安心」の評価が低いことは、少し気になる場所かもしれません。安心して暮らせる、致命的な不安は除きたいという考えが、若者を呼び込むことに繋がるかもしれません。

委員：我が子に「三田に住み続けたい気持ちはあるか」と聞いたら「ない」と言われました。若者を対象に「どんな店舗が三田に店を構えたら嬉しいか」といったレベルのアンケートを実施することも必要ではないかと思います。三田駅前商店街を活性化させることで、集客にも繋がると思います。

委員長：施策でいうと「若者が集うまち」の項目で、移住促進事業、若者定住促進、学生のまちづくりの部分ですね。若者に、どんなまちが好きか、どうすればまちが良くなるのか、三田を「自分のまち」と思ってもらえるような施策を考えてもらうのではなく、アンケートによって、気軽に意見を集約することから始めるイメージでしょうか。この意見も、担当課に事前にお伝えして回答の準備をお願いできればと思います。

副委員長：神戸市は観光客が少なく、すごく住みやすいと思っています。20年近く前から、京都市に対しては、観光客を呼び込むような施策ばかりではなく、市民が「住み続けられるまちづくり」を目指した施策を展開してほしいと言ってきましたが、観光客を呼び込む施策が多くなっています。明石市は、子育て世代が移住してきていますよね。三田市に住み続けようかということになるには、恐らく学校教育や地域医療などが重要視されるのだと思います。三田の住みやすさや、三田の魅力を見つけていくことなどで、市民がビジョンを持って生活することも良いと感じます。

委員長：大事な観点だと思います。「観光・交流・文化の振興」には「三田まち博」やふるさと納税や、いろいろ内容が書かれています。基本、市外から呼び込む施策が書かれています。ただ、「観光」と言っても、市外から呼び込むだけではなく、市民が三田市をどう楽しんで、地元消費、地元経済に繋げていくかということも同時に考えないといけないと思います。「観光・交流・文化の振興」に追加意見として、市外から呼ぶことも含めて、まちの楽しさ・魅力を出しながら観光客を増や

す、内需観光に対する考え方についても、ヒアリングしてもいいかと思います。

委員：本年度、イベントの中で、若者世代に「三田市にやってほしいことを書いてほしい」と寄せ書きを集めるという事を実施します。こちらは広報広聴課に届けたあと、市長にも届けていただきます。普段集めにくい意見を、簡単なアンケートで集めていけば、若者世代の本質が見えてくるのではないかと思います。やはり、若者がいないと市は衰退していくと思いますので、若者にフォーカスした、単純な施策でもいいと思うので、進めていただけたらと思います。

委員長：それは「観光・交流・文化の振興」と「まちの再生」の両方に関連する質問ですね。「若者が集うまち」として、若者にどういったことを考えているのか、いろいろな聞き方があるのではないかという内容を、意見としてヒアリングしたいということと、「まちの再生」においても、ただ単にビルを建てるということだけではなくて、何を特色として、何を三田の誇りとして、若者の定住する気持ちに繋げようとしているのか、市はどのように若者から意見を聞いているのかというご質問のような気がしますけども、それを事前質問に追加したいと思います。5つ目を「学校教育の充実」、「地域医療の安心」、「農業の振興」、どれにしましょうか。

委員：私は、「学校教育の充実」についてヒアリングしたいと思います。大学生としていろいろな活動していますが、小・中・高校生の皆さんと連携をしたいと思い取り組んでいますが、なかなか連携が取れていません。三田をよりよいまちにしていくためには、学生間の連携は必要だと思います。

副委員長：若い人に焦点を当てるということであれば、今回は、まち・観光・若者の方針で決定するというのでしょうか。

委員：異議ありません。

委員長：では、5つ目は「学校教育の充実」とします。今の意見も含めた事前質問に対して回答をお願いします。最終的に決定した5つのヒアリング項目は、『学校教育の充実』、『若者が集うまち及び地域活躍人材育成プログラム「三田スモカモス・プロジェクト」』、のセット、『観光・交流・文化の振興及び三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業』のセット、『まちの再生』、『交通ネットワーク』の5項目です。次回の委員会で、4項目のヒアリングを実施。第3回委員会で残り1つのヒアリングを実施します。「若者が集うまち」を第3回にヒアリングを実施いたします。また、第2回向け事前質問票を7月5日までにご提出ください。ヒアリングする5項目に対する追加質問でも結構ですし、ヒアリング以外の項目についても、意見があれば提出していただいても結構です。質問だけではなく、ご意見としても提出をお願いします。

・次回は7月12日（金） 18時30分から開催する。